



Iaz

プレイ人数：2～6人

概念：

プレイヤーはサイコロを振って、カードに示された目の組み合わせと、同じ組み合わせの目を出します。得点の合計が一番高い人が勝利します。

入っているもの：

- ・6面のサイコロ5つ
- ・組み合わせカード24枚
- ・ルール 1枚

プレイの準備：

1. カードはよく切って、4枚のカードを開いてテーブルにおきます。
2. 残ったカードは、裏向きの山にして、手の届く所に置きます。
3. 一番年下のプレイヤーから始めます。

プレイの手順：

・プレイヤーは自分の順番が来たら、引き札の山からカードを1枚めくって、テーブルの上に開きます。そして、これをすでにテーブルに並んでいるカードに加えます。

・プレイヤーは1回目に5つのサイコロを取って、振ります。

・サイコロを振って出た目が、カードに示された目の組み合わせの1つと同じだった場合、プレイヤーは対応するカードを獲得し、自分の前に表を向けて置きます。

そのプレイヤーはサイコロを左隣のプレイヤーに渡します。

・サイコロを振って出た目が、どのカードの目とも一致しなかった場合、または、より得点の高いカードを勝ち取りたい場合には、プレイヤーはどのカードの組み合わせを出すか、先に宣言しなくてはなりません。

・プレイヤーは、1個または数個のサイコロを取って置いて、残りをもう一度振って、先に宣言していたカードに挑戦します。

・2投目も希望の組み合わせの目が出なかった場合には、3投目を行います。3投目が最後です。

重要：手番のプレイヤーは、サイコロを振るたびに、いくつかのサイコロを振るのか、自由に決める事ができます。そして、先に振ったサイコロをいくつか、そのままの目とっておくことができます。(1個も取っておかなくてもかまいません。)

・プレイヤーの3投目にも、宣言した組み合わせの目が出なかった場合(指定したカードを変える事できません)には、左隣のプレイヤーの手番となります。

この場合、次のプレイヤーには2つの選択肢があります：

1. **再び挑戦：**この場合プレイヤーは、相手の取りそこなった組み合わせを勝ち取るために、サイコロを2投目まで振って、指定の目を出すことができます。この場合も、いくつかのサイコロをとっておくか自分で決める事ができます。

(**訳注：**前のプレイヤーのサイコロを、そのままとっておくことができます。)

2. **やりなおし：**この場合プレイヤーは、新しいカードを1枚引いて、すでにテーブルに並んでいるカードに加え、全てのサイコロを振ります。こうして、通常の手番を始めます。

イアッツの発生

もしプレイヤーがすべてのサイコロが同じ目であれば、**イアッツ**です。

この場合、そのプレイヤーは、テーブルに並んだカードから好きなカードを獲得して、もう一度手番を行う事ができます。

勝者・・・

ゲームは引き札の山がなくなるまで続きます。山がなくなったら、プレイヤーは、自分の獲得したカードの得点(得点は1枚ずつ赤い丸の中に記されています)を合計して、スコアを出します。最も多くの点数を獲得したプレイヤーが勝利します。

制作：キダルトゲーム・
ネバーストップブレイング

このゲームは2004年に無料配布されたゲームです。

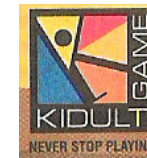
「キダルトゲーム」は、ミラノにて2007年まで活動していたゲーム会社でした。

代表作として、現在ラベンズバーガーから出版されている「パウワウ」の元となった「コヨーテ」があります。

また初期のゲームには、ポルターダイス、ダイスラン、ダイスランドがあり、後期にはカードゲームの「ファブ・フィブ」「ワズ・バラス」「パラディン」「ドルイド」「カサノバ」が出版されました。

わたしがこの世界に入って、かなり初期に親身になっていた会社です。

皆様の中に、キダルトゲームの記憶が少しでも残っていれば幸いです。



ゲームストア・バナスト 中野将之

お問合せ先：
462-0058 名古屋北区西志賀町4-15
ゲームストア・バナスト(担当:中野)
Tel/Fax: 052-910-0025
em@il_banesto@cside9.com
http://banesto.cside9.com
エッセイやその他の情報があります。
ぜひご参照くださいませ。



！ゲーム全般での注意！
ゲームの内容物は、誤飲による窒息などの危険がありますので、3歳以下のお子様の手が届かないところでお楽しみくださいませ。